平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場会社名　株式会社 椿本チエイン　　上場取引所　東
コード番号　6371　URL　http://www.tsubakimoto.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 長　勇
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員　経営企画センター長　(氏名) 山本　哲也　TEL 06-6441-0054

四半期報告書提出予定日　平成25年8月7日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	40,539	12.5	3,190	△2.2	3,255	△2.6	1,911	0.7
25年3月期第1四半期	36,020	9.0	3,260	39.8	3,342	41.4	1,899	54.1

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　6,468百万円　(349.5%)　25年3月期第1四半期　1,439百万円　(△3.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	10.22	―
25年3月期第1四半期	10.15	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	220,583	114,189	48.7
25年3月期	215,837	108,597	47.3

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　107,488百万円　25年3月期　102,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	3.00	―	4.00	7.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		4.00	―	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	82,400	13.2	5,700	△11.2	6,000	△8.0	3,600	△5.5	19.24
通期	170,000	13.3	13,700	8.9	13,800	7.7	8,100	9.0	43.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	191,406,969 株	25年3月期	191,406,969 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	4,268,788 株	25年3月期	4,263,619 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	187,140,394 株	25年3月期1Q	187,159,919 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の当社グループを取り巻く経営環境の変化、市場の動向、為替の変動などにより、予想数値と異なる場合があります。また、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではございません。

○添付資料の目次

１．　当四半期決算に関する定性的情報 …… P. ２
（１）経営成績に関する説明 …… P. ２
（２）財政状態に関する説明 …… P. ３
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… P. ３
２．　四半期連結財務諸表 …… P. ４
（１）四半期連結貸借対照表 …… P. ４
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… P. ６
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… P. ８
（継続企業の前提に関する注記） …… P. ８
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… P. ８
（セグメント情報等） …… P. ８

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間（平成25年４月１日～平成25年６月30日）における当社グループを取り巻く事業環境は、わが国においては政府の経済政策や円高是正などにより景気持ち直し傾向にあるものの、民間設備投資の回復には至っておらず、厳しい状況が続きました。一方、海外においては米国経済が回復傾向を維持していることや中国経済に減速がみられるもののアセアン諸国を中心としたアジア経済が成長を続けていることから、比較的好調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、持続的成長力の強化に向け、地域戦略、商品戦略の見直しに取り組むなど、収益体質の強化に努めました。

これらの結果、当第１四半期連結累計期間の受注高は415億６百万円（前年同期比21.1%増）、売上高は405億39百万円（同12.5%増）となりました。

損益につきましては、日本国内における販売が低調であったことなどから、営業利益は31億90百万円（同2.2%減）、経常利益は32億55百万円（同2.6%減）、四半期純利益は19億11百万円（同0.7%増）となりました。

なお、セグメント別の概況は次のとおりです。

［チェーン］

チェーンにつきましては、日本国内において駆動用チェーンやプラスチックチェーンなどの販売が減少したものの、米国における駆動用チェーンの販売が堅調を維持したことなどから、売上高は前年同期比で増収となりました。

損益につきましては、日本国内における販売の減少が大きく影響し、前年同期比で減益となりました。

以上により、チェーンの受注高は133億66百万円（前年同期比9.1%増）、売上高は133億32百万円（同5.1%増）、営業利益は８億14百万円（同30.2%減）となりました。

［精機］

精機につきましては、中国において減速機などの販売が好調に推移しましたが、日本国内における直線作動機や減速機の販売が低調であったことなどから、売上高は前年同期比で減収となりました。

以上により、精機の受注高は52億43百万円（前年同期比9.3%増）、売上高は47億93百万円（同3.2%減）、営業利益は３億68百万円（同38.3%減）となりました。

［自動車部品］

自動車部品につきましては、日本国内における自動車エンジン用タイミングチェーンドライブシステムの販売は横ばいで推移したものの、米国、タイ、韓国などの拠点において同商品の販売が好調であったことから、売上高は前年同期比で増収となりました。

以上により、自動車部品の受注高は147億17百万円（前年同期比19.5%増）、売上高は145億90百万円（同17.7%増）、営業利益は24億43百万円（同38.3%増）となりました。

［マテハン］

マテハンにつきましては、日本国内において創薬業界向け保管設備や流通業界向け自動仕分け設備の販売が減少しましたが、前年に買収した海外子会社を前第３四半期より連結の範囲に含めたことなどから、売上高は前年同期比で増収となりました。

損益につきましては、日本国内における販売の減少や採算性の悪化、また買収に伴うのれん等の償却などにより、前年同期に比べ損失が拡大しました。

以上により、マテハンの受注高は77億13百万円（前年同期比75.1%増）、売上高は74億８百万円（同35.2%増）、営業損失は４億49百万円（前年同期は２億33百万円の営業損失）となりました。

［その他］

その他の受注高は４億65百万円（前年同期比7.6%減）、売上高は４億15百万円（同17.1%減）、営業利益は７百万円（同81.9%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して47億46百万円増加し、2,205億83百万円となりました。

流動資産は、繰延税金資産等の減少によりその他の流動資産が４億85百万円減少した一方、仕掛品の増加などにより棚卸資産が11億53百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して６億３百万円増加し、973億85百万円となりました。

固定資産は、生産設備への投資などにより有形固定資産が21億２百万円増加したこと、保有株式の時価上昇などにより投資その他の資産が18億95百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して41億42百万円増加し、1,231億97百万円となりました。

（負債）

負債は、繰延税金負債等の増加によりその他の固定負債が10億38百万円増加した一方、未払法人税等が18億10百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して８億45百万円減少し、1,063億94百万円となりました。

（純資産）

純資産は、円安進行に伴い為替換算調整勘定が26億16百万円増加したこと、保有株式の時価上昇などによりその他有価証券評価差額金が16億30百万円増加したこと、利益剰余金が12億１百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して55億91百万円増加の1,141億89百万円となり、自己資本比率は48.7%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の第２四半期（累計）および通期の連結業績予想につきましては、現時点では、平成25年５月10日公表の業績予想から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,678	16,173
受取手形及び売掛金	41,844	41,831
有価証券	560	3,966
商品及び製品	14,222	13,887
仕掛品	9,229	10,263
原材料及び貯蔵品	5,846	6,300
その他	5,788	5,302
貸倒引当金	△388	△340
流動資産合計	96,782	97,385
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,404	26,212
機械装置及び運搬具（純額）	21,887	23,264
工具、器具及び備品（純額）	1,999	2,167
土地	37,132	37,353
建設仮勘定	4,057	3,586
有形固定資産合計	90,481	92,584
無形固定資産	5,381	5,525
投資その他の資産		
投資有価証券	16,899	19,241
その他	6,429	5,982
貸倒引当金	△135	△136
投資その他の資産合計	23,192	25,087
固定資産合計	119,055	123,197
資産合計	215,837	220,583

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,488	25,827
短期借入金	8,305	8,354
1年内返済予定の長期借入金	3,563	10,394
未払法人税等	2,399	589
賞与引当金	3,229	2,005
工事損失引当金	80	39
資産除去債務	―	7
その他	13,475	14,398
流動負債合計	57,543	61,615
固定負債		
長期借入金	24,638	18,583
退職給付引当金	9,508	9,645
役員退職慰労引当金	234	207
資産除去債務	246	236
その他	15,067	16,106
固定負債合計	49,696	44,778
負債合計	107,239	106,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,076	17,076
資本剰余金	12,657	12,658
利益剰余金	83,318	84,519
自己株式	△2,017	△2,020
株主資本合計	111,036	112,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,724	6,354
繰延ヘッジ損益	△72	△49
土地再評価差額金	△11,348	△11,348
為替換算調整勘定	△2,319	297
その他の包括利益累計額合計	△9,016	△4,745
少数株主持分	6,577	6,700
純資産合計	108,597	114,189
負債純資産合計	215,837	220,583

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	36,020	40,539
売上原価	25,490	28,908
売上総利益	10,530	11,631
販売費及び一般管理費	7,269	8,441
営業利益	3,260	3,190
営業外収益		
受取利息	13	17
受取配当金	219	244
その他	174	116
営業外収益合計	407	378
営業外費用		
支払利息	102	106
固定資産除売却損	46	122
その他	175	84
営業外費用合計	325	313
経常利益	3,342	3,255
特別利益		
投資有価証券売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	－
減損損失	102	－
投資有価証券評価損	7	－
特別損失合計	112	－
税金等調整前四半期純利益	3,231	3,256
法人税、住民税及び事業税	759	570
法人税等調整額	417	688
法人税等合計	1,177	1,258
少数株主損益調整前四半期純利益	2,054	1,997
少数株主利益	154	86
四半期純利益	1,899	1,911

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,054	1,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△802	1,635
繰延ヘッジ損益	102	23
為替換算調整勘定	53	2,773
持分法適用会社に対する持分相当額	31	38
その他の包括利益合計	△615	4,470
四半期包括利益	1,439	6,468
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,209	6,182
少数株主に係る四半期包括利益	229	285

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額
	チェーン	精機	自動車部品	マテハン	小計				
売上高									
外部顧客への売上高	12,688	4,953	12,398	5,479	35,520	500	36,020	―	36,020
セグメント間の内部売上高又は振替高	261	93	―	4	359	243	602	△602	―
計	12,950	5,046	12,398	5,484	35,879	744	36,623	△602	36,020
セグメント利益又は損失(△)(営業利益又は損失(△))	1,166	597	1,767	△233	3,298	41	3,340	△79	3,260

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△79百万円には、セグメント間取引消去55百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△135百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

（単位：百万円）

	チェーン	精機	自動車部品	マテハン	その他(注)	調整額	合計
減損損失	―	―	―	―	102	―	102

（注）「その他」において、取壊しの意思決定をした建物等につき、帳簿価額を回収可能額まで減額し、既存建物の解体費用を含めて減損損失を計上しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額
	チェーン	精機	自動車部品	マテハン	小計				
売上高									
外部顧客への売上高	13,332	4,793	14,590	7,408	40,124	415	40,539	―	40,539
セグメント間の内部売上高又は振替高	259	72	―	18	350	195	546	△546	―
計	13,592	4,865	14,590	7,426	40,475	611	41,086	△546	40,539
セグメント利益又は損失(△)(営業利益又は損失(△))	814	368	2,443	△449	3,177	7	3,184	5	3,190

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額５百万円には、セグメント間取引消去68百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△63百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。